

2024年1月11日

各 位

株式会社三井住友銀行

合同会社 NSIP2023 への「グリーンローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、野村不動産投資顧問株式会社（代表取締役社長：三浦 公輝）がアセット・マネージャーを務める合同会社 NSIP2023 に対し、同社が策定した「グリーンファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）に基づくグリーンローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の使途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートを通じ透明性が確保されたものを指します。

アセット・マネージャーを務める野村不動産投資顧問は、国内最大級の運用資産残高を有する不動産系運用会社として、野村不動産グループが築き上げた資産運用のノウハウやネットワークを活用しながら、国内外の投資家の信頼に値する価値の創造を追求しています。NSIP シリーズのファンドコンセプトは、野村不動産グループが供給する物件を投資対象として長期安定収益の獲得を目指す物件特定型のコアファンドであり、運用ファンドと野村不動産グループ間で好循環サイクルを構築、相互成長の加速を目指しています。

野村不動産投資顧問は、中長期的な投資主価値の向上を図るためには、環境（Environment）・社会（Society）・ガバナンス（Governance）への配慮が不可欠であると認識しており、野村不動産グループの CSR 経営の理念に基づいたサステナビリティ方針を制定の上、不動産投資運用業務全般において ESG への配慮を組み込んでいます。また、野村不動産グループは、気候変動と自然環境に関するマテリアリティとして「脱炭素」、「生物多様性」、「サーキュラーデザイン」を掲げており、また、関連する目標・KPI の 1 つとして「毎年の新規に開発する固定資産・収益不動産（賃貸住宅除く）における環境認証（DBJ Green Building、LEED、CASBEE、BELS など）取得率」を 2030 年に 100%とすることを挙げ、既に 2019 年度から 2022 年度の実績としてこの目標を達成しています。

今般、このような取組みの一環として、本フレームワークに定める適格クライテリアを充足する物件の取得資金としてグリーンローンを調達しました。

本フレームワークは、第三者評価として株式会社日本格付研究所（JCR）より「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」の最上位評価である「Green 1（F）」を取得するとともに、同社より「グリーンボンド原則 2021 年版」、「グリーンローン原則 2023 年版」、「グリーンボンドガイドライン 2022 年版」及び「グリーンローンガイドライン 2022 年版」において求められる項目について基準を満たしているとの評価を取得しています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

(参考)

野村不動産投資顧問株式会社ホームページ：
<https://www.nre-am.co.jp/>をご参照下さい。

株式会社日本格付研究所（JCR）による「グリーンファイナンス・フレームワーク評価」（2024年1月11日公表）の詳細：
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL：03-4333-6964

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。